

地域連携ニュースレター

「人間科学部 科学実験教室」を開催しました

3月11日（土）、人間科学部と同学部児童学科学学生会が、小学生の親子を対象とした「人間科学部 科学実験教室」を開催しました。本イベントは、大学の前を通学、通行する小学生を見た学生会学生の“キャンパスの中で楽しい企画を提供したい”という想いが発端となり、同学部の世田谷キャンパス移転から1年が経ったこの時期に、地域の方々などに学部の魅力を知っていただくことを目的に企画されました。

当日は、サイエンスエンターテイナーとしても活動する同学部の五十嵐美樹特任准教授が、テーマ「世界に一つだけの風力発電装置を作って発電しよう！」のもと、発電サイエンスショーと風力発電装置づくりのワークショップを実施し、小学生とその保護者27組が参加しました。また、15人の学生が運営やワークショップなどをサポートしました。



五十嵐 特任准教授による風力発電装置づくりの説明



発電装置づくりの際、児童のオリジナルデザインに周囲の関心が集まる様子



羽が回り発電する扇風機を使って実験

「都市大まなびチャンネル」に2テーマの動画が加わりました

2020年度より制作している動画「都市大まなびチャンネル」に、以下の2テーマが加わりました。本学の教育研究を活かした生涯学習や学びの機会として、新たに大人を対象とした内容にしました。

●テーマ：地層から読み解く 東京23区唯一の溪谷 等々力溪谷の成り立ち（前、後編）

＜協力＞理工学部自然科学科 萩谷宏准教授

●テーマ：橋をかける 羽田スカイアーチと東京ゲートブリッジ

＜協力＞三木千壽学長



記載のQRコードより是非ご覧ください。

（クリックするとウェブサイトにつながります）

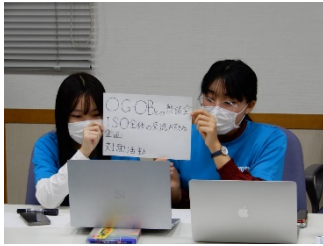
また、研究テーマをもとに、地域の方々向けの動画を制作されたい先生方は、

学長室〔地域連携担当〕までご相談ください



2022年度後期（10～3月）の活動実績（イベント・ワークショップ等）

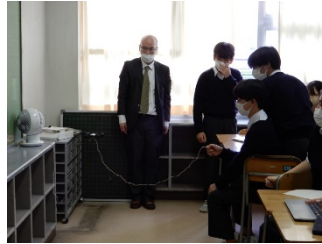
10月23日（日）



若者環境フォーラム2022

- ＜実施内容＞パネルディスカッション（オンライン形式、テーマ：気候変動に伴う行動変容の実現方法）へのパネリスト参加
- ＜協力＞ISO学生委員会
- ＜参加人数＞55人
- ＜主催＞世田谷区

11月22日、12月13、
20日（各火）



尾山台中学校との連携授業

- ＜実施内容＞「ドローンを動かしてみよう」をテーマとした連携授業の実施
- ＜協力＞理工学部電気電子通信工学科
大電流エネルギーDX研究室
- ＜参加人数＞2年生103人
- ＜主催＞尾山台中学校、本学

12月3日（土）



都市大留学生カフェ

- ＜実施内容＞留学生の母国紹介（今回はカードゲーム形式）によって地域の方々の相互理解を深める「小さな国際交流」
- ＜協力＞メディア情報学部社会メディア学科
山崎（瑞）研究室
- ＜参加人数＞13人
- ＜主催＞NPO法人ぐるっと緑道、
中川西地区センター、本学

12月14日(水)～22日（木）



クリスマスライトアップ

- ＜実施内容＞世田谷キャンパス内
クリスマスライトアップ
- ＜協力＞建築都市デザイン学部建築学科
小林（茂）研究室、世田谷祭実行委員会、学生団体連合会
- ＜参加人数＞約50人
- ＜主催＞本学

12月18日(日)



新・才能の芽を育てる体験学習

※6月にも別テーマを実施済

- ＜実施内容＞世田谷区立または区内在住の小中学生等を対象とした体験学習（テーマ：親子で一緒に！身体を使って表現あそびを楽しもう♪）の提供
- ＜協力＞人間科学部児童学科
子どもの運動・身体表現研究室
- ＜参加人数＞13組
- ＜主催＞世田谷区教育委員会

12月18日(日)



環境若者デー2022

- ＜実施内容＞ワークショップ（テーマ：マイクロプラスチック工作～海のゴミについて考えよう～）とポスターの出展
- ＜協力＞ISO学生委員会
- ＜参加人数＞小学生親子10組
- ＜主催＞世田谷区他

1月21日(土)



第13回 ガリレオコンテスト

- ＜実施内容＞審査員長として、中学生の自然科学・科学技術に関する自由研究の審査・表彰
- ＜協力＞大上浩 副学長
- ＜応募件数＞2,596点（内、入賞9点）
- ＜主催＞世田谷区教育委員会

2月26日(日)



SDGs環境フェア

- ＜実施内容＞実験サポート（企画「らんま先生のecoサイエンスステージ」）とSDGsに関するパネル・動画の出展
- ＜協力＞環境学部、ISO学生委員会
- ＜参加人数＞350人（イベント全体）
- ＜主催＞都筑区

2月28日(火)



地域連携調査研究発表会

- ＜実施内容＞学生が地域をテーマに調査・研究した成果や本学と都筑区との連携事業の発表
- ＜協力＞応募のあった環境学部、メディア情報学部の研究室及びSDPBL(2)の優秀発表グループの学生計10人
- ＜参加人数＞43人
- ＜主催＞都筑区、本学

他、尾山台フェスティバルの運営サポート（10月）や「よこはま森の楽校」、とうきゅうキッズプログラム」への出展（12月、2月）も行いました
なお、当担当では、研究室で行われる地域に向けたイベント等にかかる費用（又はその一部）を支援しております